

平成29年度 事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 14 日

事務事業名	ふるさと応援基金事業				事業区分	新規/継続		継続		事務事業No.	010301000055		
政策体系上の位置付け										所属課	020201		
総合計画の施策名 O103 健全な財政運営の推進										主要事業	対象外		
政策名 01 市民と行政による豊かな地域の自治づくり										市長マニフェスト	対象外		
施策名 03 健全な財政運営の推進										未来PJ事業	対象外		
基本事業名 01 財源確保対策の推進										合併建設計画事業	対象外		
財務会計上の位置付け										事業期間	単年度繰返し (平成20年度～)		
予算科目	会計 款 項 目 事業 細				一般会計								
01	02	01	01	03	00	ふるさと応援基金事業							
法令根拠 桜川市ふるさと応援寄附条例										期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
① 事務事業の概要 (事務事業の全体像)	② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>「生まれ故郷」や「かつて住んでいた、または訪れたことがあり、ゆかりのある地」など、桜川市を愛する方から広く寄付金を募り、これを財源として各種事業を実施する。</p> <p>寄付金は以下の事業に充当する。また寄付者には、寄付金控除の制度が適用される。なお、1万円以上の寄付者には市の季節の特産品を贈呈する。</p> <p>※充当される事業                  ①自然環境保全及び景観の維持、再生に関する事業 ②市民によるまちづくり活動の推進に関する事業③産業の振興及び魅力ある観光地づくりに関する事業④教育・文化・スポーツ活動の充実に関する事業 ⑤市民の健康増進及び医療施設の充実に関する事業 ⑥福祉の充実・向上に関する事業 ⑦その他目的達成のために市長が必要と認める事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寄付金の受領 (自治体へ直接寄附があった場合)</li> <li>寄付金受領証明書の発送</li> <li>郵便振替用紙の送付</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

① 手段 (担当者の活動内容)	④ 活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>寄付金の受領 (自治体へ直接寄附があった場合)</li> <li>寄付金受領証明書の発送</li> <li>郵便振替用紙の送付</li> </ul>	寄附の受領件数	件	289.00	103.00	400.00	600.00	600.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
寄付をしてくださる方	寄附者	人	289.00	103.00	400.00	600.00	600.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③ 意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ふるさとに対する思いを実現化し、多様な人々の参加による個性豊かな活力あるふるさとづくりに資することを目的とする。	寄附金額	千円	13,607.00	12,453.00	4,000.00	6,000.00	6,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	期間限定		
							(実績)	(実績)
投入	事業費	財源内訳	国庫支出金 千円	0	0	0	0	0
			県支出金 千円	0	0	0	0	0
			地方債 千円	0	0	0	0	0
			使用料・手数料 千円	0	0	0	0	0
			その他 千円	0	0	0	0	0
			一般財源 千円	15,635	16,009	6,848	9,072	9,072
事業費計 (A) 千円			15,635	16,009	6,848	9,072	9,072	0
量	人件費	正規職員従事人数 人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	
		述へ業務時間 時間	520.00	470.00	490.00	500.00	500.00	
		人件費計 (B) 千円	1,509	1,363	1,421	1,451	1,479	
		トータルコスト(A)+(B) 千円	17,144	17,372	8,269	10,523	10,551	

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)			29年度事業費 予算 (千円)		
08 報償費	77			12 役務費	48	
12 役務費	164			13 委託料	2,800	
13 委託料	1,768			25 積立金	4,000	
25 積立金	14,000					
合計		16,009		合計		6,848

(4) 当該年度の実施内容

29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する <ul style="list-style-type: none"> <li>主要事業</li> <li>市長マニフェスト</li> <li>未来PJ事業</li> <li>合併建設計画事業</li> </ul>		
→		

事務事業名	ふるさと応援基金事業	事務事業No.	10301000055	所属課	財政課
-------	------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	平成20年4月に公布された「地方税法等の一部を改正する法律」により、個人住民税の寄附金税制が大幅に拡充される形で導入された。全国的に実施されている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	平成27年第1回定例会(H27.3)において、2名の議員から一般質問があった。2名の議員共、返礼品の充実をはかることにより寄附金の増大に努めるべきとの意見が寄せられた。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	寄附金増大の為に返礼品として桜川市の特産品の拡充を図らなければならない。
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	寄付金は貴重な財源であり、市の事業遂行の一助となっている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	全国的にほぼすべての市町村で行われている事務事業である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	返礼品の充実をはかり、寄付金額の増大につなげる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	毎年、恒例的に寄付をいただいている方もいる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	寄附金額に依じての委託料等の予算措置であり、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	寄付者に対して特産品を贈呈しているため、適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	毎年、寄付をいただいている方もあり、市の貴重な財源となっている。近年、ふるさと納税が注目され、億単位の寄付を集める自治体もあることから、本市においても返礼品を充実をさせ、寄附金の増大をはかるため、平成27年度から業務一括代行を行っている。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
寄附金増大の為に返礼品として桜川市の特産品の拡充を図らなければならない。	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果 ⑥																							
	コスト削減優先度評価結果 ④																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>